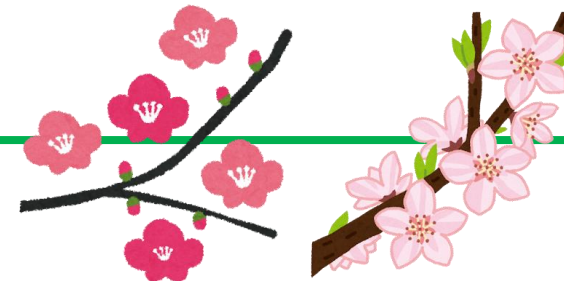


お知らせ



・ 3月の診療スケジュール

荒川区休日診療当番：3月15日（日）10:00～13:00, 14:00～20:30
3月28日（土）17:00～20:30

当日は来院順の診察となります。小児科ネット予約は行いませんのでご注意ください

臨時休診：3月21日（土）

・ MRワクチン：2期（年長）の接種期限

定期接種期限は3月31日までです

期限間際の3月はワクチンの不足などが発生することもありますので、早めの予約・接種をお勧めします

中村内科小児科医院便り～花粉症の季節です～ 2026年2/3月



- 小児科の診療を担当している中村幸嗣です。私自身が専門とする小児感染症を中心に、子どもの健康や病気に関わる情報を、幅広く、定期的にお伝えしていきたいと思います。
- **小児のスギ花粉症は年々増え、低年齢化しています**：10代では約半数がスギ花粉症と報告されています。幼児期から発症するケースも増えています
- **主な症状は「くしゃみ・透明な鼻水・鼻づまり」**：発作的なくしゃみ、水のような鼻水、強い鼻づまりが特徴です。子どもでは「鼻をこする」「鼻に横じわがある」などのしぐさがヒントになることもあります
- **花粉症は生活や学習に影響します**：鼻づまりにより睡眠の質が低下し、日中の集中力や学習効率が落ちることがあります。早めの対策が大切です
- **診断は症状と診察所見で可能。場合によっては検査**：①原因をはっきりさせたい ②舌下免疫療法を検討する場合には、血液検査（特異的IgE）を行います。6歳以上は指先からの少量の採血で簡易的な検査も可能です。
- **治療の基本は「花粉回避」と「お薬」**：花粉飛散時期のマスク着用、帰宅後の洗顔・着替えなどの対策が重要です。治療では第2世代抗ヒスタミン薬や鼻噴霧用ステロイド薬を中心に、年齢・重症度に応じて選択します。**小児科・内科では眼の症状、咳の症状も合わせて対応が可能です**
- **体質改善を目指す「舌下免疫療法」**：5歳以上ではスギ花粉に対する舌下免疫療法が可能です。3年以上継続することで、治療終了後も効果が持続する可能性が示されています。当院でも実施可能ですが、専用の薬の流通量が少ないため要相談となります。早くても花粉症のシーズン終了後からの開始となります。